

令和2年度 狭山市立入間野小学校学校関係者評価表

※学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善策について評価する。

※【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(85%) C：あまりできていない(70%) D：できていない(70%未満)

領域	NO	項目	教員	児童	保護者	改善策等について (説明)	学校関係者評価委員 (学校評議員) から 【 評 価 】
学校教育目標	1	児童は、分からないことは質問しながら聞いている。	B	B	B	子供たちが質問しやすい学級づくり・教師の声掛けを大切にしてい く。 元気なあいさつ、丁寧な文字を書いたり言葉遣いを使ったりすることは、まず大人が手本を示すことで子供たちに広げていく。 進んで運動に取り組むには、児童の興味・関心が高まる運動、少しがんばればできる場やルールの工夫、仲間と関わってできることの喜びを感じさせる授業改善を心がける。	【B】挨拶は生活の基本です。各家庭への働きかけも必要だと思 う。 自己肯定感を高め、さらに学級活動や表現活動を通じて積極的に自分の意見を言えるようになることを期待しています。 コロナ禍の中、学校・児童・保護者共に日々手探りで過ごしてきた一年だったと思います。新しい生活様式での学校生活で、子供たちのケアをしながら、同時に教育もしていただき、いち保護者として先生方には感謝しかありません。
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。	B	B	C		
	3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B	B	B		
	4	児童は、自分から目を見て挨拶している。	B	B	B		
	5	児童は、丁寧な言葉づかいをしている。	B	B	B		
	6	児童は、集団のために活動している。	B	A	B		
	7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	B		
	8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	B	B		
	9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている	B	A	B		
学校運営	10	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B			昨年度に引き続き、道徳の研修に取り組んだ。全員が研究授業を実施することで、「考え議論する道徳」を意識した授業改善につながった。	【A】道徳教育は最重要と感じます。よくできていると思 います。 教員全員が研究授業を実施しており、意識の高さが感じられる。このまま定着を期待します。
	11	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B				
	12	職員は、報告・連絡・相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A				
学力	13	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身に付けさせている。	B	A	A	今年度末から、一人一台タブレット端末が配備されるため、研修を重ね、計画的に有効活用していく。	【A】タブレット端末が有効に活用できるとよいと思 います。体面授業も大切なので、バランスよく活用してほしい。
	14	学校は、自ら考える力を付けている。	B	A	B		
規律心	15	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級を作っている。	B	A	A	子供たちの悩みや相談に寄り添った指導ができるように、全教員を対象とした生徒指導・教育相談の研修を実施していく。	【A】実際に授業を訪問して、十分にできていると感じます。 児童や保護者から高評価を得ているのは、日頃の指導の成果の表れだと思 います。
	16	学校は、規律ある態度を身に付けさせている。	B	A	A		
	17	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B	A	A		
健康・体力	18	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B	A	A	休校が長引いたため、子供たちの体力低下が目立った。休み時間も外で楽しく遊べる取組を実施していく。	【A】コロナ禍のため、子供たちの体力低下が心配です。家庭でも、縄跳びなどで体力づくりができると感じます。
	19	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B		B		
環境	20	学校は、美しい環境を保持している。	B		A	階段のほこりが多いので、重点箇所として、清掃を実施する。	【A】皆がもくもくと掃除に取り組んでいると思 います。
連携	21	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B	A	A	コロナ禍の中でも実施できる活動を見直していく。	【A】地域で協力できることはもっとありそうなので、声をかけてほしい。
会計	22	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A		A	複数での確認を徹底する。集金日に業者に来校してもらう。	【A】会計報告は、学期ごとに細かくされていると思 います。